
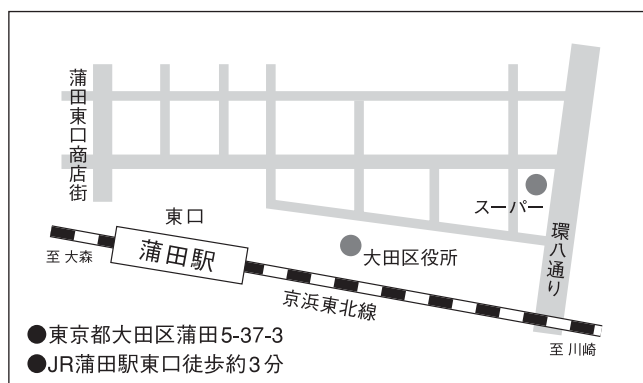


005年**10月15日** 
開場 13:30 / 開演 14:00
大田区民ホール アプリコ小ホール

入 場 料 : 3,000円 (全席自由)
主 催 : シグマガギタースクール
お問合せ : E-mail kato@sigumaguitar.com
TEL 03-3761-6719

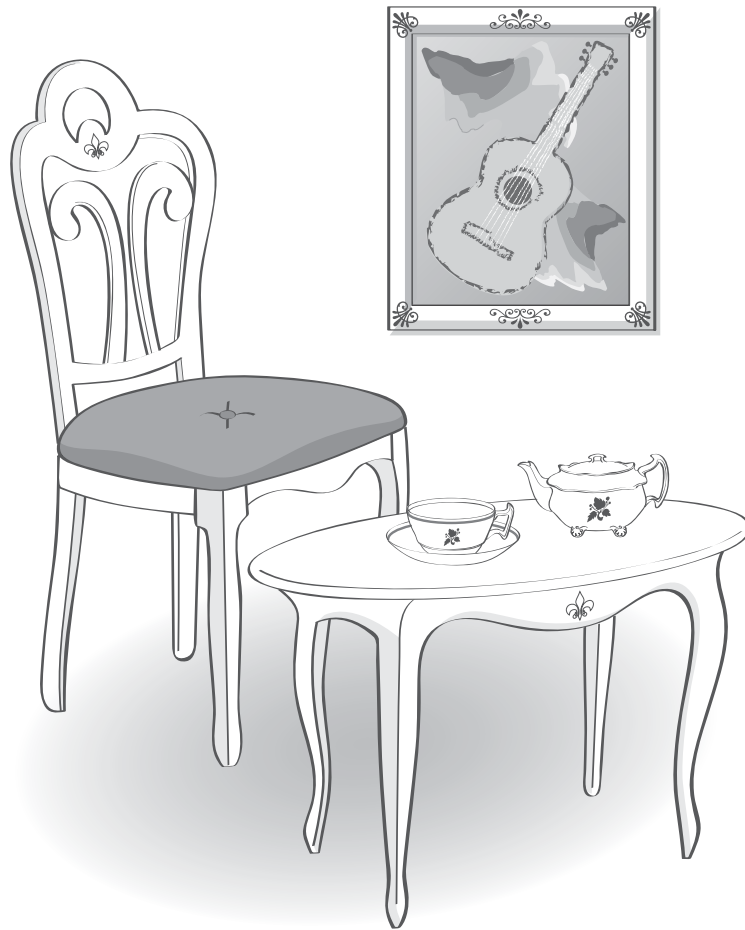


加藤繁雄 プロフィール

1982年全日本ギターコンクール独奏部門首席、1996年ファーストアルバム「おいらはキャベツ作りの子」をリリース。日本ギター合奏連盟のギターアンサンブルOZ コンサートマスターとして、これまで6枚のCDを発売。アンサンブル曲集は第8集までのアレンジの1部を担当。日本ギター合奏連盟事務局、社団法人日本ギター連盟正会員、G.L.C. (ギター・リーダーズ・クラブ) 会員、日本ギター普及協会会員。

加藤繁雄 ギターサロンコンサート

珠玉の小品を集めて…



2005年10月15日(土)

開場 13:30 / 開演 14:00

大田区民ホール アプリコ小ホール

入場料：3,000円(全席自由)

主 催：シグマギタースクール

Shigeo Kato

ごあいさつ

本日はご来場くださりましてありがとうございます。本日は私にとって久々のコンサートです。1996年に8弦ギターの研究を始め、1999年に大田区民プラザではじめてその成果を問うコンサートを行っています。単純に6弦ギターが8弦ギターとして2本の弦が増えたというわけではない、独特の深さ・個性を持っています。簡単に言えば、その後も新たな楽器に挑戦していた時間といえます。そして今日のサブタイトル「珠玉のギター小品を集めて…」ともありますように、どんなに短くても心打つ名曲、これが実はギター魅力が一番引き出してくれるように思います。メドレー化により、時間的に長く演奏する作品もありますが、そのひとつひとつは宝石のような輝きを持った作品を集めたつもりです。ぜひ最後までごゆっくりお聞きください。

2005年10月15日 加藤繁雄

プログラム&曲目解説

★リュートのための6つの小品(作者不詳&V.ガリレイ)

ギターの前身とも言べきリュートは、宮廷音楽に無くてはならない弦楽器として寵愛され、16世紀に多くのリュティストが誕生しました。この時代には演奏者イコール作曲者でもあり、多くの名曲も誕生しています。本来「リュートのための6つの小品」という形ではなく、「アリア」「白い花」「舞曲」「ガリアルダ」の4曲(いずれも作者不詳)と、「歌と舞曲」(V.ガリレイ)という2曲をセゴヴィアが纏め上げてギターで演奏されるようになりました。ヴィンチェンツォ・ガリレイ(1520-1591)は地動説で有名なガリレオ・ガリレイの父で、リュートの作品数は1000曲以上といわれていますが、今日残っている作品はごく僅かです。リュートの響きを感じられるよう、カポタストを使つての演奏です。

★歌と踊り第1番(R.ピポー)

アントニオ・ルイス・ピポー(1934-1997)は、スペインのグラナダ出身の作曲家、ピアニスト。バルセロナとパリでピアノと作曲の修行を積み(バカリッセ、オアナなどに師事)、1982年にフランスの市民権を取ってからは、パリを本拠に活躍しました。

「歌と踊り第1番」は1956年から1969年の間に6曲作られたこのシリーズ最初の曲で、巨匠イエペスの演奏でギターファンにはおなじみのものです。二短調、8分の6拍子のメランコリックな「歌」が終わると、二長調に転調して、軽快なリズムを持つ「踊り」が演奏されます。

★「ゆりかご」「エンデチャ&オレムス」「ロシータ」(F.ターレガ)

★カプリチオ・アラベ(F.ターレガ)

フランシスコ・ターレガ(1852-1909)はスペインのカスティリオン、ヴィリャレルに生まれたギタリスト、作曲家で、「近代ギターの父」と呼ばれています。幼い頃に事故で目を悪くし、それを案じた父親がピアノを習わせますが、ギターの名手アルカスの演奏を聞いてギターを弾くことを決意します。マドリッド音楽院で和声、ピアノ、作曲を学び、それらのすべての技法をギターに応用しました。その後スペインはもちろん、遠くロンドン、パリまで演奏旅行をし、「ギターサラサーテ」といわれるほどの名声を博しました。しかしながら当時のギターに対する偏見と低い認識のために経済的には恵まれず、貧困の中に多くの名作を残して1909年、57歳でバルセロナに没しました。

「ゆりかご」は子守唄的なゆったりした作品、「エンデチャ&オレムス」はこの2曲がセットで演奏される作品で、エンデチャは「悲歌」、オレムスは「祈り」という意味です。ターレガの遺作といわれています。「ロシータ」は少女の名前で、ポルカの快活なリズムに乗って演奏されます。メドレーでお聞きください。

「カプリチオ・アラベ」はアラビア風奇想曲と訳されていますが、1888年に書かれた名曲です。そのエキゾチックなメロディが多くの人に愛され、ギターオリジナル作品としては珍しくピアノ、ヴァイオリン、ブラスバンドなどにまで編曲され、演奏されている作品です。

★ワルツ第3番・ワルツ第4番(A.バリオス)

アウグスチン・バリオス・マンガレは1885年5月、パラグアイに生まれ1944年エルサルバドルで心臓病のため世を去った偉大なギタリスト、作曲家です。15歳の時に国立専門学校に入学し、25歳から南米、中南米を演奏旅行しています。37歳で初めてセゴヴィアに会ったとき、セゴヴィアにギター奏法の助言をしています。ギター製作家のサントス・エルナンデスが書いた「思い出集」で『セゴヴィアが初めて南米に行ったときは左手の技術が甘かったが、バリオスに逢って助言を受け、スペインに戻ってからはその技術は完全なものになっ

た』といっています。バリオスはギターのみならず哲学者・神学者・詩人でもありました。外国語も数ヶ国語を話し、アメリカ大陸に音楽学校を創設しています。ブラジルの大作曲家ヴィラ=ロボスにも多大な影響を与え、バリオスの「告白」「悲しみのショーロ」を聞いて「前奏曲第1番」や「特徴的ショーロ」が生まれたといわれています。今日でも自演レコードが残されており、その驚異的テクニックを愉しむことができます。悲しみ漂うワルツ第3番、歌いたくなるほどゴキゲンなワルツ第4番は8弦ギターの本領発揮です。

《ここで一服休憩!!!…かな…?》

★アストリアス(I.アルベニス)

イサーク・アルベニス(1860-1909)はカタルーニャのカンプロドンに生まれ、南仏の保養地カンボ・レ・バンに没したピアニスト・作曲家です。4歳で公開演奏、10代前半での南アメリカ大陸放浪など、早熟ぶりを示すエピソードが数多く残っています。1883年からはバルセロナやマドリッドで作曲、コンサート活動を行い、自国の歌やリズムを素材にした独自の作曲スタイルを完成していきました。1893年からのパリでの生活は、ダンディ、フォーレ、デュカスらと親交を結び、彼らの作品に刺激を受けて、より高度な作曲技法を追及していきました。アストリアスはレイエンダ(伝説)というサブタイトルがあり、アルベニスのピアノ曲集「スペイン組曲第1集」の5曲目に収められた作品で、他方「組曲スペインの歌」の1曲目にプレリュードとしても登場します。ギターアレンジの名曲として古くから演奏されてきていますが、8弦ギターによる原調どおりのト短調は、独特な雰囲気を出してくれます。

★マズルカショーロ・ガヴォットショーロ(H.ヴィラ=ロボス)

★練習曲第11番・前奏曲第1番(H.ヴィラ=ロボス)

ブラジルの大作曲家ヴィラ=ロボス(1909)はリオデジャネイロに生まれ、6歳のときに父親よりチェロとピアノを教わりました。父はアマチュアの音楽家でしたが、大変熱心に教育し、ついにはオーケストラのすべての楽器をマスターしたと言われていました。一方ブラジルの民族楽器であるギターにも興味を示し、最初に作曲したのはギター曲でした。11歳で父親を亡くしてからは独学で音楽の勉強を続け、17歳のときから演奏活動を開始しています。31歳でルービンシュタイン(ピアニスト)、タルエルミオ(作曲家)と出会い、創作活動に大きな影響を受けました。セゴヴィアとも親交をもち、「前奏曲集」「練習曲集」「ギター協奏曲」などを発表しました。“ブラジルのバッハ”とも言われ、1000曲以上の作品を残して生まれ故郷のリオデジャネイロで1995年他界しました。

「マズルカショーロ」作曲者の異国への憧れを感じさせる1曲です。ショパン風な書法でメロディックな作品。

「ガヴォットショーロ」バッハのチェロ組曲第6番のガヴォットを題材にしています。ヴィラ=ロボスがいかにバッハに心酔していたかを伺うことができる作品です。

「12の練習曲集」はヴィラ=ロボスの代表作で、1929年パリ滞在中に作曲し、セゴヴィアに献じています。その中で第11番はブラジルのアマゾンの大自然を彷彿させる凄みある作品です。

「5つの前奏曲集」は1940年に書かれた作品で、夫人アルミンダに捧げられています。中でも第1番は最も多く演奏されている名曲といえます。

★ベネズエラワルツ第1番・第2番・第3番(A.ラウロ)

アントニオ・ラウロ(1919-1986)はベネズエラの作曲家・ギタリストで数多くの作品を書いています。今日でも入手できるのは限られた作品です。ベネズエラ音楽の父と称されるビセンテ・エミリオ・ソホに師事し、演奏技巧のすべてを学び、ラウル・ボルヘスやバリオスの影響でギター作品も充実して行きます。1980年代初め、ラウロは欧米訪問を行い、各地で演奏会・マスタークラスを行いました。ラウロの名は同じくベネズエラ出身のギタリスト、アリリオ・ディアスの演奏で世界的に有名になりました。

「ベネズエラワルツ」はラウロの代表作で、4つのワルツから成りますが、本日はそのうちベネズエラの陽気を感じる第1番、切なさ漂う第2番、躍動感あふれる第3番を取り上げました。

★大聖堂(A.バリオス)

バリオスが20歳の頃、ウルグアイの首府モンテビデオの、とある教会から流れるオルガンの調べを聞いて、その印象をこの曲に表したと伝えられています。

I 前奏曲(サウダーデ) II 宗教的アンダンテ III 荘重なアレグロの3曲からなり、I IIは大聖堂の中の敬虔な祈りの気持ち、IIIは祈りを終えて群衆の間に漂い残る感動の余韻を表しているといわれています。バリオスの代表的名曲のひとつで、ギターのカンパネラを十分に生かすト短調で書かれています。

ご来場本当にありがとうございました!

シグマギタースクール 生徒募集中!!!

初心者の方も安心して学べます。
楽しいギターアンサンブルも学べます。

- レッスン日： 月曜日～土曜日 AM11:00～PM10:00
- 場所： 大田区大森北1-35-1増尾ビル3階（JR大森駅東口徒歩3分、大森銀座Milpa内）
- TEL・FAX： 03-3761-6719
- メール： kato@sigumaguitar.com
- 入学金： 5,000円
- レッスン料： 8,500円（月4回30分の個人レッスン受講の場合）
- 合奏団： 【土曜合奏団】土曜日PM3:00～5:00 【ザ・ステア】土曜日PM7:30～9:30
- ホームページ： <http://www.sigumaguitar.com>

<p>加藤繁雄 演奏CD紹介</p>	<p>ソロCD おいらはキャベツ作りの子 加藤繁雄ギター・アルバム MTCD-0008 2,800円</p> <p>1. おいらはキャベツ作りの子の主題による 変奏曲Op. 49（ジュリアーニ） 2. 大聖堂（バリオス） 3. 4つのブラジル民謡組曲（ヴィラ＝ロボス） 4. アルハンブラ宮殿の想い出（タレガ） 5. 南のソナチネ（ボンセ） 6. コムンパバ（ドメニコニ）</p>	<p>アンサンブルCD 愛のオルゴール ギターアンサンブル“OZ” GGBD2006 2,625円</p> <p>1. イエスタデイ（マッカートニー）2. 望郷の歌（ドイツ民謡）3. ラ・クカラチャ（メキシコ民謡）4. メキシカン・ハット・ダンス（メキシコ民謡）5. 愛のオルゴール（ミルズ）6. ウィーンはいつもウィーン（シュランメル）7. ドナウ河のさざ波（イワノヴィッチ）8. この世の果てまで（ケント）9. 夢見るカノン（佐野正隆）10. 軍隊行進曲（シューベルト）11. 少年時代（井上陽水）12. コンドルは飛んでいく（ロブレス）13. サバの女王（ローラン）14. さくら変奏曲（佐野正隆）15. アランブラの想い出（タレガ）</p>
<p>アンサンブルCD 天使のセレナーデ ギターアンサンブル“OZ” GGBD2011 2,625円</p> <p>1. ジェラシー（ガーデ）2. アメーzing・グレイス（イギリス民謡）3. エーデルワイス（ロジャース）4. エル・チョコロ（ビョルド）5. カルメン組曲より“間奏曲”（ビゼー）6. きらきら星の主題による変奏曲（佐野正隆）7. 二人でお茶を（ユーマンズ）8. 小フーガ（バッハ）9. 交響曲第39番より第3楽章メヌエット（モーツァルト）10. 好きにならずにいられない（ウェイス）11. 幸せになるために（日向敏文）12. メヌエット（ボッケリーニ）13. 天使のセレナーデ（ポップ）</p>	<p>アンサンブルCD G線上のアリア ギターアンサンブル“OZ” GGBD2014 2,625円</p> <p>1. 夏の思い出（中田喜直）2. キエン・セラ（ルイス）3. 第三の男（カラス）4. 7つの子～夕焼けこやけ（本居長予・草川信）5. 日曜はだめよ（ハジダキス）6. イタリアーナ（レスピーギ）7. ミッシェル（マッカートニー）8. ビヤ樽ポルカ（ヴェイオタ）9. パッションート（佐野正隆）10. 翼をください（村井邦彦）11. 夏の風（長谷部二郎）12. G線上のアリア（バッハ）</p>	<p>アンサンブルCD 真珠採りのタンゴ ギターアンサンブル“OZ” GGBD2016 2,625円</p> <p>1. イエスタデイ・ワンス・モア（カーペンターズ）2. ケ・セラ・セラ（エヴァンス）3. 愛の挨拶（エルガー）4. ホタ・アラゴネーサ（ビゼー）5. カデイス（アルベニス）6. ノクターンOp9-2（ショパン）7. 真珠採りのタンゴ（ビゼー）8. レロン・レロン・シンタ（フィリピン民謡）9. 四季より春（ヴィヴァルディ）10. ターフェルムジーク第2集第4番より第4楽章（テレマン）</p>
<p>アンサンブルCD 精霊の踊り ギターアンサンブル“OZ” GGBD2018 2,625円</p> <p>1. シャル・ウィー・ダンス？（ロジャース）2. 秋のささやき（セネヴィル）3. トップ・オブ・ザ・ワールド（カーペンター）4. 奥様お手をどうぞ（エルヴィン）5. 精霊の踊り（グルック）6. ギターのためのバロック三重奏（ヴィヴァルディ）7. マドリガル（シモネッティ）8. グリーンズリーヴス幻想曲（佐野正隆）9. 希望のメロディ（長谷部二郎）10. セビーリヤ（アルベニス）</p>	<p>アンサンブルCD ザ・ステアライブ96 J.S.バッハ 3つのヴァイオリン協奏曲 SGCD001 2,100円</p> <p>1996年3月、バリオホールで行ったザ・ステアのライブを収録しました。</p>	<p>アンサンブルCD オリーブの首飾り ギターアンサンブル“OZ” GGBD2023 2,625円</p> <p>1. 「マイフェアレディ」より踊り明かそう（F.ロウ）2. グランドソナタOp.22より第4楽章（F.ソル）3. 白い恋人たち（F.レイ）4. オリーブの首飾り（C.モルガン）5. 夢の中のウェディング（P.センズヴィル&O.トゥーサン）6. 楽興の時（F.シューベルト）7. 冬の星座（W.ヘイス）8. いい日旅立ち（谷村新司）9. ぶな伝説Ⅲ（伊東福雄）10. ハープ協奏曲（G.F.ヘンデル）11. 春の歌（F.メンデルスゾーン）12. リンク（佐野正隆）13. トルコ行進曲（W.A.モーツァルト）</p>

●CDはシグマギタースクールでお取り扱いしております。●価格は税込みの金額です。